
愛について

遠野ましろ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
愛について

【コード】
N0337S

【作者名】
遠野ましろ

【あらすじ】
ホームページ14500ヒット時に頂いたリクエスト『愛について』への応答。一発本番で臨みました。

私が彼と、現在の夫と真剣に向き合おうと思ったのは、忘れもしない。

人体の不思議展、がきっかけだった。

見に行ったのではない。彼と会いに行く道中、電車の中に見た広告だ。

赤い筋肉に臓器付き標本が大写しとなったシンプルな広告。

なのに、脳が痺れるほどの意味を持った、私にとって。

音に例えるならズガーン。

当時の私は、自分でも言うのも何だがそこそこモテ期で。

周囲の男性が魅力的にあまり、それも手伝って色んな人と飲みに行った。

勿論、簡単に体を許すようなうつつけでは無い。出かけるだけ。でも明らかに相手は好意を持って。分かるから快感。

こんな私に呆れてキレた友人は、三ヶ月後に会った時には教師という職と同時に二股かけて不倫を覚えていた。馬鹿野郎。

話を戻す。だからこそ、分かった。

表面的な見た目の綺麗さ、見栄えの良さ、スタイルよーし。ふわふわした甘いカクテルみたいなものに酔いしれて。

それだけじゃ何も得られない、腹ん中に何も溜まんない。揺さぶられないってことが判明してしまった。

なにしろ私が腹を据えて『呑む』ことを選んでいない。

裸になっちまえば同じもんがついてるとミスチルは言った。

身体の構成要素は同じ。詳細はハガレン参照。

少しは見てくれの良い顔があったとして、？いじまえば筋肉と骨だけが残る。更に骨になってしまえば。

人間、大して変わらない。

ならば何を根拠に惹かれる。美形だとかさわぐ？ 惚れ込む？

つか、年寄りになったら変わんないんじゃないか。失礼ながら。

だって若さの財産じゃない、皺だらけになっただって残るものってあるでしょ。

そいじゃ、不細工で中身のある奴と、美形で内面最悪な奴。どっち選ぶつつつたら………すみません。

旦那です。

標本見てほとほと再認識した。けど展示は見に行かなかった。行けば良かった。

人は鏡だとゆずは歌った。心の中に守れないテリトリーがあると、チャゲアスは訴えた。

私は、人の心の真ん中には球体があると思っている。クライシスコア

深くて透明で誰にも触れさせない、純粹で穢されない世界が。

人が人を慈しむことの真髓が。

利己的で我儘で自己中心的で非・博愛精神の持ち主だからこそ、私は言う。

愛といえば、たった一人しか浮かばない。

残念ながら私は訪問者皆を愛しているとか、見も知らぬ他者を愛すなどと、どう転んでも言えない。

太陽が西から昇っても、だ。

なぜならば、私の中心は。

私が求めてやまない存在、渴望する感情は。幸せにしてやりたいという願いは。彼だけに向かっているからだ。

愛について。

以上。

追伸：このままだと旦那が醜男という汚名を着せられかねない。否
定しておこう。

(後書き)

ホームページ14500ヒット時に頂いたリクエスト『愛について』への応答。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0337s/>

愛について

2011年4月14日00時57分発行